

科目名 (Eng)		非言語コミュニケーション入門 (Nonverbal Communication)								
担当教員		田淵 義英								
対象学年等	学科・専攻	学年	授業期間	区分	単位数	時間数	分野	形態	学修単位科目	
	コミュニケーション 情報学科	4	通年	必修	2	60	専門	C		
目標基準との対応	福島高専の教育目標との対応：(D-2)，(D-3) 卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：6) JABEE基準1(1)との対応：(d)-(1)，(d)-(3)，(d)-(4)，(g)									
授業の概要と方針	非言語コミュニケーションについての基礎的な理論を理解し、それを現実に応用できる力を養う。									
到達目標	①教科書の輪読を通じ、非言語コミュニケーションの基礎的な理論を理解する。 ②演習を通して、非言語コミュニケーションを現実に応用する力を養う。									
授業計画										
	週	授業項目	理解すべき内容					事前学習		
前期	1	導入 (1)	コミュニケーションとはなにか。					特になし		
	2	導入 (2)	verbalとlinguisticの違い。					特になし		
	3	導入 (3)	非言語コミュニケーションとはなにか。					教科書の予習		
	4	ボディ・メッセージ	身体の発するメッセージ。					教科書の予習		
	5	動作と表情 (1)	人体動作の5分類を知り、その文化的意味付け/解釈を理解する。					教科書の予習		
	6	動作と表情 (2)						教科書の予習		
	7	目の使い方 (1)	さまざまな「注視」を知り、そこに込められたメッセージ、その文化的差異などを理解する。					教科書の予習		
	8	目の使い方 (2)						教科書の予習		
	9	周辺言語	さまざまな「声調」と、そのメッセージ。					教科書の予習		
	10	沈黙	さまざまな「沈黙」と、そのメッセージ。					教科書の予習		
	11	触れ合い	さまざまな身体的「接触」と、そのメッセージ。					教科書の予習		
	12	空間と距離 (1)	コミュニケーションにおける空間 (縄張り) や距離 (間合い) と、そのメッセージを理解する。					教科書の予習		
	13	空間と距離 (2)						教科書の予習		
	14	時間 (1)	文化的時間の観念、生体リズムなど、さまざまな「時間」と、そのメッセージを理解する。					教科書の予習		
	15	時間 (2)						教科書の予習		
	16	色彩 (1)	色彩の持つさまざまなニュアンスと、その利用のされ方/仕方を理解する。					教科書の予習		
	17	色彩 (2)						教科書の予習		
後期	18	言葉を超越するもの (1)	そのほかのさまざまな非言語のメッセージを知り、「言葉以外の言葉 (non-verbal language)」を理解する。					教科書の予習		
	19	言葉を超越するもの (2)						教科書の予習		
	20		チャン・イーモウ監督の『初恋のきた道』を吹き替えも字幕もなしで観て、なにを理解出来た/出来なかったか、またなぜ理解出来たか/出来なかったかを検討す					事前に映画を観ないこと。		
	21	演習 1：異言語を聴く								
	22									
	23		黒澤明監督の『生きる』を観て、主人公の渡辺勘治の非言語表現に、彼のどのような人格/心情などが読み取れるかを検討する。					事前に映画を観ないこと。		
	24	演習 2：非言語を聴く								
	25									
	26	声を奪われること	サバルタンと、彼らの声を聴くことについて理解する。					特になし		
	27	歴史との対話	過去を評価/判断することの非言語性について理解す					特になし		
	28									
	29	演習 3：過去の声を聴く	戦争犯罪から一人の個人をテーマに選択し、伝記、資料などからその人の声を聴く。					特になし		
	30									
試験について	実施しない。									
評価方法	授業への取り組み、発表・演習への取り組みを総合的に評価する。									
教科書	マジョリー・F・ヴァーガス, 1987, 『非言語コミュニケーション』新潮社。									
参考書	必要に応じて指示する。									
関連科目										
履修上の注意	授業の前半では、毎回教科書の各章についてグループ発表と討論を行う。全員が事前に該当する章を読んでくること、討論に積極的に参加することが求められる。授業の後半では、様々なテーマで非言語コミュニケーションのグループ演習を行う。積極的に参加することが求められる。									